

公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

平成25年度(第3回)理事会議事録

日時：H26年1月10日(金)18:00~19:30

場所：茨城県診療放射線技師会事務所

出席：理事 横田 浩、長谷川光昭、鈴木達也、小原 孝夫、平井 正幸、梶山 裕晃 坂井 朋夫、川村 拓、水木 一弘、広瀬 和夫、村木 一夫、宮本 勝美、小仁所 圭子、川又 誠、仲田 智彦、野澤 哲也、館野 誠、會澤 敏、山下 ひろみ

監事：中澤 洋治、委任者：波多野浩嗣

議長：横田 浩、書記：長谷川光昭

出席理事19名、委任1名で理事会開催規定を満たすことが宣言され、議事に入った。

【議事】

【1】平成26年度予算・事業計画について

(川又)26年度予算は、約900万円の収入が見込まれます。支出では事務所・人件費等で430万円は必ず年間かかるため、実質使えるのは470万円ですが、26年度は40万円の赤字予算になる見込みです。細かい部分の訂正等をして後日配布しますが、公益社団法人となったため、予算総会は開催せず、本日の理事会で承認をいただきたい。

【承認】

事業計画については資料3のとおりです。企画・情報部の事業計画は、MMG講習会は開催しないため、パンフレット作成、市民公開講座2回開催としてください。

【承認】

【2】第32回茨城県診療放射線技師学術大会(鈴木)現在集まった演題は27題で広告は16社です。演題数が多いため、読影に関する講習会を盛り込むのは難しい状況です。また、前日の準備はなくし、当日、実行委員は8:00集合で準備を行います。午前中は一般演題発表、ランチョンセミナー(ワークステーション3社)後、簡単なハンズオンを行い、森先生の特別講演、シンポジウム(モダリティごとの読影について)を最後に16:00には終了するようプログラムを作成します。

【承認】

【3】関東甲信越学術大会について(横田)現在準備を行っている。メーカーへの協賛及び演題を募集中であり、理事の協力をお願いします。

【4】その他

- ・(横田)5月25日に平成25年度決算総会を茨城県総合福祉会館中会議室(4F)で開催する予定。それにとまって役員理事の選挙もあるため、辞任予定理事は後任を紹介してほしい。
- ・(村木)1月15日(水)に第20回茨城県診療放射線技師会・茨城県立医療大学放射線技術科学科懇談会を開催します。また、平成25年度第1回読影の補助講習会の参加者アンケートをまとめたので配布します。第2回は2月末か3月上旬に開催予定。次回日程 4/16(水)と決定し閉会した。

《決算総会並びに役員選挙のお知らせ》

下記日程で平成25年度決算総会並びに役員改選選挙を開催致します。また、市民公開講座も開催致しますので、多数のご参加よろしくお願い致します。

日時：5月25日(日)9時30分～

場所：茨城県総合福祉会館 4階中研修室

内容：H25年度事業報告、会計報告、会計監査、役員改選他

《行事報告》

1. 放射線治療技術研修会開催報告

H26年1月11日(土)茨城県立中央病院において放射線治療技術研修会を開催致しました。参加者数は13名(内会員10名)でした。

内容は教育講演として第1部が静岡県立静岡がんセンター放射線治療科 診療放射線技師 伊藤哲氏による「静岡県立静岡がんセンターにおける放射線治療の紹介-放射線治療の実際」。第2部は静岡県立静岡がんセンター放射線治療科医学物理士 金野正裕氏「静岡がんセンターにおける放射線治療の紹介-医学物理士の役割と品質管理」についての講演が行われました。特に「安全・確実(正確)・安心・患者が楽に」を元にした治療の工夫を紹介していただきました。



2. 第125回茨城県RI研究会開催報告

H26年1月21日(火)茨城県総合福祉会館にて第125回茨城県RI研究会を開催しました。会員24名、非会員9名、計33名の参加がありました。

内容は、筑波メディカルセンター病院の村田氏より核医学診断用モニタの輝度測定における進捗状況の報告。また、水戸済生会総合病院の藤田氏よりGaスキャンと骨スキャンの欠損像を中心に症例提示がありました。更に、茨城県立医療大学の對馬先生より核医学専門技師を目指すまず一步として、専門技師の必要性や試験合格のためのノウハウを教えてくださいました。最後は、日本医科大学健診医療センターの櫻井先生より心臓核医学の現状というテーマで、心臓核医学の基礎から最新情報まで幅広くご講演いただきました。

(報告者：茨城県立中央病院 飯田)



3. 第2回放射線治療技術研究会報告

H26年2月1日(土)㈱日立製作所日立総合病院においてH25年度の第2回茨城県診療放射線技師会放射線治療技術研究会を開催いたしました。今回は、東洋メディック㈱荒木氏に「測

定機器の原理を知ろう」と題して改めて電位計や電離箱の内部の基本構造や測定原理について勉強する機会を設けました。使用頻度も高くQAには欠かせないものですが、本当に詳しく理解しているかという自信が持てない部分が多々ある分野でもあります。現場で実際に起きた事象についての質問など活発に議論が交わされました。また会員発表として前回に引き続き「標準計測法12へ移行」報告を3施設より発表していただきました。今回の参加者数は32名(内会員24名)でした。



4. 第3回乳腺研修会開催報告

H26年2月1日(土)東京医科大学茨城医療センター(医療・福祉研究センター)において、第3回乳腺研修会を開催しました。

参加者：17名(会員：16名 非会員：1名)

内容：今回は、ソフトコピー診断をする上で重要なモニタの管理について、EIZO株式会社様のご協力のもと研修会を開催しました。研修会の前半では、『液晶モニタの基礎知識および品質管理の必要性』について、EIZO株式会社の嘉陽浩和さんに講義していただきました。後半はグループに分かれ、実際のモニタを用いてその管理の方法などをより詳細に解説していただきました。測定器を用いた管理



の方法やアーチファクトの画像などを実際に見て学ぶことができ大変参考になりました。活発な意見交換などもでき、有意義な研修会となりました。(文責 宮田)

5. 第2回MR研究会開催報告

H26年2月7日に、つくば国際会議場にて今年度2回目のMR研究会が行われた。真冬の寒い夕方からにもかかわらず、会員44名、非会員18名計62名の参加であった。内容は、テルモ株から造影剤の安全性について、会員発表として筑波大学サイバニクス研究コアの五月女先生からfMRIの基礎について、また特別講演としてつくば国際大学の村中先生に頭部のMRIの基礎について講演をして頂いた。アンケートにおいて両内容とも非常に好評を得た。次回は本年秋ごろを予定している。以上(文責 砂森)



6. 第44回茨城県臨床核医学研究会報告

H26年2月15日(土曜日)14時半から水戸三の丸ホテルにて、第44回茨城県臨床核医学研究会を開催しました。当日関東地方は大雪で、最悪の交通状況ではありましたが、医師を含む県内の技師35名の参加があり、無事研究会を終えることができました。話題提供として「福島第一原発からの放射能汚染について」を(株)富士フィルムRIファーマ千葉工場長 岡崎富美夫氏に、教育講演として「放射能汚染を考える」を茨城県立医療大学保健医療学部教授 佐藤齊氏に、特別講演として「東日本大震災後に診療放射線技師として対応したこと」を川崎市立川崎病院放射線診断科 小野欽也氏にご講演いただきました。県内では、福島第一原発の影響がなくなってきて放射能汚染のことは忘れ去って

きているようであるが、まだまだ福島方面では、放射能汚染の問題は残っていることを知らされた研究会でありました。

7. 第2回茨城セミナー

第96回超音波研究会報告書

H26年2月23日(日)つくば国際会議場にて第2回茨城セミナーが開催されました。午前中は“腹部初級”“腹部中級”“肝胆脾苦手克服”“頸動脈初級”の各コースに分かれ、3会場でハンズオンが行われました。講師の先生方が長年培ってきた経験や検査の心構え、教科書には書いていない描出のコツなどを伝えると、受講者はその技術を少しでも習得しようと熱心に取り組んでいました。午後は“ステップアップするために必要な知識と考え方”というテーマで教育講演が行われました。今回の茨城セミナーには153名(内 診療放射線技師40名)と多くの方が参加され大変有意義なセミナーとなりました。



8. 水戸腹部超音波診断研究会学術講演会 第97回超音波研究会報告書

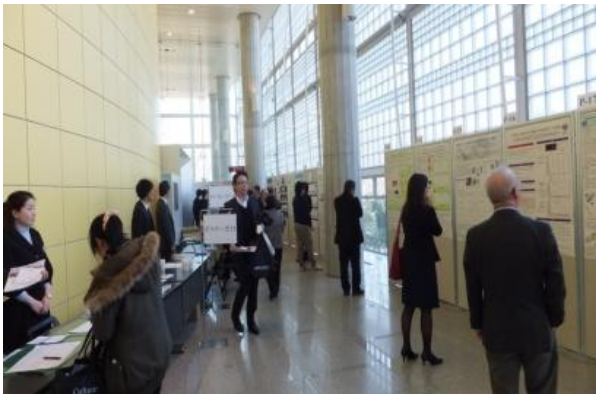
H26年2月28日(金)水戸医師会館 講堂において標記の講演会を行いました。東邦大学医療センター大橋病院放射線科教授の関口隆三先生を招待し“超音波を中心とした腹部画像診断”をテーマにご講演頂きました。講演会は56名(内 診療放射線技師31名)と多くの方が参加し大変有意義な講演会となりました。最後にお忙しい中ご講演頂きました関口先生に感謝するとともに、水戸医師会、水戸腹部超音波診断研究会、東芝メディカルシステムズ株式会社、第一三共株式会社の皆様々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。(文責 増田光一)



9. 第7回茨城放射線腫瘍研究会 学術講演会報告

H26年3月8日(土)つくば国際会議場において開催いたしました。今回も引き続き第1回より茨城県放射線技師会放射線治療研究会は後援させていただいております。

今回のテーマ「放射線治療「再」入門」と題して一般演題、教育セミナー「今更聞けない！放射線生物・医学物理・臨床・看護の基礎」等。一般演題は12題、主に医師・看護師の発表でした。今回から新しい試みとしてポスター演題を同時開催し29題と多数の発表がありました。参加者数は118名(会員28名)と過去最多となりました。



10. 第2回読影の補助に関する講習会

H26年3月9日に茨城県立医療大学において、第2回「読影の補助に関する講習会」を行いました。内容としては、最初に「読影の補助における現状」を茨城県立医療大学付属病院・村木が報告し、講師として龍ヶ崎済生会病院の藤田法久さんに「当院における読影アシスタント業務」、茨城県立医療大学付属病院の大瀬寛高先生に「呼吸器疾患における画像診断」と題して講演をしていただきました。参加者39名(会員：24名、非会員10名、学

生5名)の参加をいただきました。平成26年度も2回の講習会を予定しています。



11. 第98回 超音波研究会 報告書

H26年3月14日、水戸済生会総合病院 丹野ホールにて第98回超音波研究会(参加者22名)を開催しました。今回はテーマを“腹部エコーの基礎 ～超音波解剖及び描出のコツを交えた基本走査を学ぶ～”とし、肝臓領域を東京医科大学茨城医療センターの松下真嘉氏。胆嚢・胆管領域を土浦協同病院の藤咲賢氏。膵臓・脾臓領域を水戸済生会総合病院の三村竹彦氏。腎臓・膀胱領域を日立総合病院の木幡篤氏より、各施設のルーチンワークを含めながら臓器別の基本解剖、走査方法の解説をして頂きながら描出のポイントや工夫そしてコツ。ピットフォールや検査を組み立てる上で必要な考え方について解説して頂きました。

(文責増田 光一)



《 会員 動 向 》

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 現在の会員数…………… | 669名 |
| 2. 入会 | |
| 黒川 有紀 | 茨城県立こども病院 |
| 貝塚 秀 | 石岡循環器科脳神経外科病院 |